

DISCLOSURE2021

2021年度 上期の概況



たちばな信用金庫

たちばなしんきん と 地域社会

～ この街と生きていく ～

皆様の
地域に大切
な資金を
還元して
います

【預金積金】
140,677百万円
【出資金】
878百万円

当金庫は、お客様にご満足いただけるよう、預金商品の開発やサービスの充実に努めています。

地域のお客様

たちばな信用金庫

常勤役員数175人

お客様からお預りした大切な預金は、地元で資金を必要とするお客様に融資を行って、事業や生活の繁栄のお手伝いをさせていただいております。

【有価証券での運用】
23,579百万円
【預証率】
16.76%

○ご融資以外の運用について

お客様からお預りした預金の一部を、有価証券で運用しています。対象の選定にあたっては安全性を第一とし、国債等の公共債や事業債等を中心に購入しています。

【貸出金】
86,307百万円
【預貸率】
61.35%

○地域のお客様へのご融資について

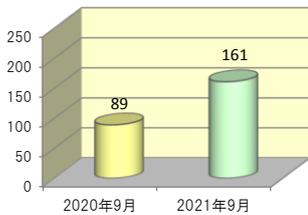
当金庫は、地域のお客様の幅広い資金ニーズにお応えしています。事業資金の融資や住宅ローンなどの個人向け融資を積極的に行っております。

○お取引先への支援等について

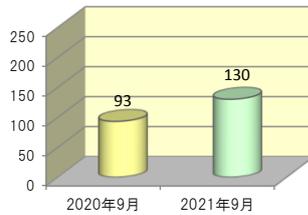
当金庫は、コロナ禍におきまして、資金繰り支援の融資を積極的に対応しています。今後も継続して、きめ細かい課題解決型金融機能の推進を図り、経営改善や事業再生に向けたコンサルティング機能の発揮や販路拡大等への支援を行います。

主要な経営指標

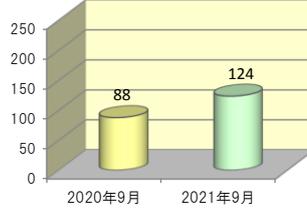
経常利益(単位:百万円)



業務純益(単位:百万円)



当期純利益(単位:百万円)



● 経常利益

本来の業務から得られる営業利益に、有価証券の売却益等の臨時収益や貸倒引当金等の臨時費用を加減したものです。

● 業務純益

貸出金や有価証券の受入利息や受入手数料等の収入から、預金の支払利息や支払手数料、経費を差し引いたものです。

● 当期純利益

経常利益に非反復的、非経常的な損益である特別損益を差し引いた税引前当期純利益から、法人税、住民税及び事業税を差し引いたものです。

単体自己資本比率(国内基準)

自己資本比率は「金融機関の健全性」を見る重要な指標です。信用金庫は、自己資本比率を4%以上維持し、健全な財務を保つことが義務付けられています。

● 単体自己資本比率

(単位:百万円、%)

	2021年9月	経過措置による不算入額
コア資本に係る基礎項目(A)	5,522	
コア資本に係る調整項目(B)	7	
自己資本額(A)-(B)=(C)	5,514	
リスク・アセット等計(D)	64,261	
自己資本比率(C)÷(D)	8.58	
総所要自己資本額	2,570	

<参考>

(単位:百万円、%)

	2021年3月	経過措置による不算入額
	5,412	
	9	
	5,403	
	64,894	
	8.32	
	2,595	

※総所要自己資本額
=リスク・アセット等計×4%

預金・貸出金の状況

● 預金・貸出金の状況

(単位:百万円)

	2021年9月末
預金	140,677
貸出金	86,307

<参考>

(単位:百万円)

	2021年3月末	2020年9月末
預金	140,549	138,177
貸出金	83,733	82,167

貸出金の内訳（業種別）

●貸出金の内訳 (単位:百万円)

	2021年9月末
製造業	2,471
農業、林業	126
漁業	30
鉱業、採石業、砂利採取業	—
建設業	6,967
電気、ガス、熱供給、水道業	262
情報通信業	22
運輸業、郵便業	811
卸売業、小売業	5,449
金融業、保険業	3,133
不動産業	15,338
物品賃借業	243
学術研究、専門・技術サービス業	411
宿泊業	1,091
飲食業	2,273
生活関連サービス業、娯楽業	975
教育、学習支援業	120
医療、福祉	4,408
その他のサービス	4,140
小計	48,277
地方公共団体	7,203
個人(住宅・消費・納税資金等)	30,825
合計	86,307

<参考> (単位:百万円)

	2021年3月末
製造業	2,499
農業、林業	101
漁業	43
鉱業、採石業、砂利採取業	—
建設業	7,166
電気、ガス、熱供給、水道業	312
情報通信業	23
運輸業、郵便業	820
卸売業、小売業	5,292
金融業、保険業	3,136
不動産業	15,402
物品賃借業	278
学術研究、専門・技術サービス業	328
宿泊業	1,090
飲食業	2,103
生活関連サービス業、娯楽業	1,003
教育、学習支援業	121
医療、福祉	4,360
その他のサービス	4,048
小計	48,133
地方公共団体	5,381
個人(住宅・消費・納税資金等)	30,217
合計	83,733

※貸アパートもしくは貸ビル建設に係る貸出金は個人であっても不動産業へ計上しております。

※業種別の区分は、日本標準産業分類の大分類に準じて記載しております。

金融再生法ベースの債務者区分による開示(単体)

●金融再生法開示債権 (単位:百万円)

	2021年9月末
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	679
危険債権	1,282
要管理債権	59
正常債権	86,281
合計	88,302

<参考> (単位:百万円)

	2021年3月末
	729
	1,312
	24
	83,632
合計	85,698

●金融再生法債権の保全状況 (単位:百万円、%)

	2021年9月末		
	担保・保証等	引当金	保全率
破産更生債権等	374	304	100.00%
危険債権	794	364	90.38%
要管理債権	49	7	100.00%
合計	1,218	676	93.76%

<参考> (単位:百万円、%)

	2021年3月末		
	担保・保証等	引当金	保全率
	386	342	100.00%
	792	366	88.38%
	24	3	100.00%
合計	1,204	712	92.75%

●金融再生法上における不良債権比率

2021年9月末	2.28%
----------	-------

<参考>

2021年3月末	2.41%
----------	-------

●金融再生法開示債権の開示基準は、担保や保証があり回収確実な部分や、貸倒引当金が計上されている部分、いわゆる保全可能分を含んで開示しています。よって全てが回収不能債権となる訳ではありません。

有価証券の時価情報

●その他有価証券で時価のあるもの (単位:百万円)

	2021年9月末			
	時価	評価差額	うち益	うち損
債券	17,737	154	236	81
株式	103	0	18	18
その他	5,727	160	242	82
合計	23,568	314	497	182

<参考> (単位:百万円)

	2021年3月末			
	時価	評価差額	うち益	うち損
	17,967	89	218	128
	95	△8	10	19
	4,874	160	224	63
合計	22,937	241	452	210

●満期保有目的有価証券で時価のあるもの (単位:百万円)

	2021年9月末			
	帳簿価額	含み損益	うち益	うち損
債券	—	—	—	—
その他	—	—	—	—
合計	—	—	—	—

<参考> (単位:百万円)

	2021年3月末			
	帳簿価額	含み損益	うち益	うち損
	—	—	—	—
	—	—	—	—
	—	—	—	—

●時価のない有価証券の貸借対照表計上額 (単位:百万円)

	2021年9月末			
	帳簿価額	含み損益	うち益	うち損
子会社・関連会社株式	—	—	—	—
非上場株式	11	—	—	—

<参考> (単位:百万円)

	2021年3月末			
	帳簿価額	含み損益	うち益	うち損
	—	—	—	—
	32	—	—	—

●売買目的有価証券 該当ございません

(注)2021年9月末の「評価差額」および「含み損益」は、2021年9月末時点の帳簿価格(償却原価法適用後、減損処理後)と時価との差額を計上しております。

地域貢献活動など

●東京海上日動火災保険株式会社と「SDGs 地方創生包括連携協定」を締結

東京海上日動火災保険株式会社と「SDGs 地方創生包括連携協定」を締結しました。

協定締結により事業継続力強化計画セミナーの開催および計画の策定支援など、地元長崎のSDGs推進と地方創生に同社と連携して取り組んでいくものです。



●事業継続力強化計画(BCP)セミナーの開催

東京海上日動火災保険株式会社との「SDGs 地方創生包括連携協定」に基づき、同社のBCP担当者による「事業継続力強化計画セミナー」が開催されました。

近年、自然災害が頻発しており、中小企業や小規模事業者が罹災した場合に事業活動の継続に支障をきたす事態が生じないよう、緊急時においても、従業員の安全や顧客からの信用を守り、安定した事業が継続できる体制を整える方法や、事業継続力強化計画について講演いただきました。



●諫早市森山町の難所を通学する子どもたちのため、時計台設置に協力しました

諫早市森山町田尻地区の子どもたちは、毎日、通称「すずめごろしの峠」と呼ばれる起伏の激しい峠を越えて通学しています。

この峠の頂は子どもたちが一息つく場所。ここで短い休息を取った子供たちは、朝は学校へ急ぎ、授業が終わると我が家へ帰ります。このような背景から、田尻地区自治会に保護者から「ここに時計台があったら、子どもたちの時間コントロールができるし、待ち合わせ目印にもなる」などの時計台設置の要望が寄せられ、建設資金を集める手段として当金庫がクラウドファンディングを紹介しサポートしました。この結果、当初の目標額を上回る協力が寄せられました。



●SDGs私募債の発行を引き受けしました

当金庫取引先様が「しんきんSDGs私募債『ちいきのミライ』」を発行され、当金庫が総額引受しました。

この私募債は、SDGsの17のゴールを達成するために発行額の0.2%に相当する物品を寄贈する寄附型私募債で、寄贈先に諫早市内の2つの保育園が選定され、子ども用の簡易プールを寄贈されました。

寄贈品贈呈式では、子どもたちが簡易プールで楽しそうに遊ぶ様子が紹介され、感謝の手紙が届けられました。



●「さいしんビジネスフェア2021」にオンライン参加しました

6月9日に開催された「さいしんビジネスフェア2021」にオンライン参加しました。同フェアで行われたオンライン商談会には取引先1先が参加し、埼玉県を本拠地とするプロスポーツチームとの商談が成立しました。試合会場やチームのオフィシャルショップで販売されるグッズの製造を請け負いました。あわせて、オンライン上にて開催された「さいしん特産品オンラインショップ」に2先の取引先が出店しました。

また、リアル会場で開催された「ふるさと お国自慢」には、長崎県を紹介する動画を制作し参加しました。



●長崎県立諫早商業高等学校の実習授業への協力

昨年に引き続き、長崎県立諫早商業高等学校の実習授業「Can Show」に協力しました。この実習授業は、コロナ禍により例年実施してきた販売実習が出来なくなったことから、代替の授業として当金庫が提案し実施されたものです。

昨年の実習において、受入企業から「斬新な発想がよかった」「これまで気が付かなかったものがあり、参考になった」等の感想がありました。また、授業に臨んだ生徒からも「ビジネスの最前線に接することができ有意義だった」と感想が寄せられ、双方ともに好評だったことから今年度も継続して実施され、協力企業は昨年の16先を上回る20先が参加しました。

